

## 平成 18 年度事業報告

平成 18 年度の事業(平成 18 年 4 月 1 日から 19 年 3 月 31 日)

### 1. 知識普及・啓発活動事業

#### (1) 運営委員会の開催

①4 月 11 日 ②7 月 3 日 ③10 月 2 日 ④1 月 22 日

#### (2) 機関誌「すこやかハート」の発行

①95 号(2006 年 6 月)カラー16 頁・3,000 部

②96 号(2006 年 9 月)カラー 8 頁・2,500 部

③97 号(2006 年 12 月)カラー 8 頁・2,500 部

④98 号(2007 年 3 月)カラー 8 頁・2,600 部

(3) ブックレット「〇〇〇、といわれたら」を 5 月に発刊した。機関誌「すこやかハート」2004 年 9 月～2005 年 12 月に掲載した同題の企画をまとめたもので、テーマは不整脈、狭心症、むくみ、動脈瘤、心臓に雑音の 5 項目。B5 版、12 ページ。表紙に北海道国民健康保険団体連合会と連名。5,000 部印刷。単価 40 円で、北海道心臓協会が 2,000 部、国保連合会が 3,000 部。

#### (4) 講演会等

##### ①健康講座・講義と実習篇「救急蘇生と自動体外式除細動器(AED)の使い方」

- ・主催：北海道心臓協会、北海道新聞社
- ・日時：10 月 28 日(土) 14:00～16:00、20 人参加(定員 40 人)
- ・場所：札幌国際ビル 8 階「A 会議室」(札幌市中央区北 4 西 4)
- ・講義「心肺蘇生と AED の基礎」 牧瀬 博氏(市立札幌病院救命救急センター一部長)
- ・実習「AED の使い方」 牧瀬氏と札幌市消防局救急救命士の斎藤恭二氏、佐々木博昭氏、土門正幸氏

##### ②健康講座・料理実習篇「燃やせ内臓脂肪ーメタボリックシンドロームを防ぐために」

- ・主催：北海道心臓協会、北海道新聞社
- ・協力：エームサービス株式会社
- ・日時：11 月 11 日(土) 10:00～14:30、23 人参加、うち男性 2 人(定員 30 人。申し込み 33 人、うち男性 4 人)
- ・場所：札幌市男女共同参画センター料理実習室(札幌市北区北 8 西 3)
- ・講師：久保ちづる氏(北大病院栄養管理部)、高崎裕代氏(同)、西村雅勝氏(同)ら
- ・メニュー：雑穀ご飯、秋刀魚の蒲焼、豚しゃぶと海草サラダ、トマトとにんにくの和風炒め、長芋のホイル焼、フルーツグラタン

##### ③北海道心臓協会市民フォーラム 2007「願いは健やかハート～楽しんで延ばそう健康寿命」

- ・主催：北海道心臓協会、北海道新聞社
- ・後援：北海道、北海道医師会、札幌市医師会、北海道国民健康保険団体連合会、北海道看護協会、北海道薬剤師会、北海道栄養士会
- ・協賛：アステラス製薬(株)、三共(株)、武田薬品工業(株)、ノバルティスファーマ(株)、日本ベーリンガーインゲルハイム(株)、万有製薬(株)
- ・日時：3 月 31 日(土)、約 600 人参加
- ・場所：道新ホール(札幌市中央区大通西 3)

I. 健康相談（10：30 開場、最終受付 12：20）道新ホールロビー特設コーナー  
医師 5 人、看護師 2 人、栄養士、薬剤師各 1 人による循環器疾患、禁煙等に関する  
無料相談

II. 講演（13：00 開場、13：30 開演、16：00 終演）  
島本和明氏（札幌医科大学医学部内科学第二講座教授）  
「メタボリックシンドロームはなぜ恐ろしいのか？」  
三浦雄一郎氏（プロスキーヤー、クラーク記念国際高等学校長）  
「世界最高峰を目指すための『超健康法』」

(5) 循環器相談業務

前掲の市民フォーラム 2007 の一環として開催、利用者 36 人。旭川医科大学、札幌医科大学、北海道大学、小樽市保健所、手稲溪仁会病院、北海道看護協会、北海道薬剤師会、北海道栄養士の協力を得て、専門医を軸とした総合的な相談態勢をとり、前年度に引き続き「禁煙相談」の看板も揚げた。

2. 研究助成事業

17 回目を迎えた平成 18 年度の伊藤記念研究助成事業は 7 件の応募があり、予備選考及び 1 月 29 日の本選考の結果、吉田英昭氏（札幌医科大学医学部第二内科・助手）、吉永恵一郎氏（北海道大学大学院医学研究科分子イメージング講座・特任助手）、大谷克城氏（旭川医科大学医学部微生物学講座・助手）への助成金贈呈を内定した。18 年度第 2 回理事会で決定のうえ、3 月 31 日、市民フォーラム 2007 の講演会の冒頭、各 50 万円を贈った。

3. 研究開発調査助成事業

3 人・3 件の応募があり、3 人・3 件、計 15 万円を助成した。町田拓自氏（北海道医療大学薬理学講座助手＝第 42 回高血圧関連疾患モデル学会学術総会に参加）、杉木宏司氏（北海道大学病院循環器外科医員・大学院生＝第 42 回日本小児循環器学会総会・学術集会に参加）、堀之内孝広氏（北海道大学大学院医学研究科生体機能学専攻情報薬理学講座細胞薬理学分野助手＝第 23 回国際心臓研究学会日本部会総会に参加）の 3 氏。報告書は機関誌「すこやかハート」に掲載。

4. 健康増進対策事業

ホームページに機関誌「すこやかハート」の内容だけでなく、健康特別講座などの詳報も収録している。また、各種催しの案内、研究助成事業、研究開発調査助成事業の募集要項等も掲載し、メールによる問い合わせや応募用紙のダウンロードができる仕組みにしている。メールによる健康相談も継続している。フォーラム 2007 の講演会にはメールによる聴講希望が相当数寄せられた。

5. 関係団体との交流

心臓・血管病予防の観点から北海道禁煙週間実行委員会に参加、活動に積極的に協力している。

6. その他

平成 17 年度健康管理指導事業に対して 18 年 4 月 28 日、道費 216,000 円が助成された。